

「解なし」とした問題について

平成 22 年度登録販売者試験（午後）の部

「主な医薬品とその作用」の設問のうち、問 29

問 29 外皮用薬に配合される成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a インドメタシンを含む外皮用薬は、妊婦又は妊娠していると思われる女性では、胎児への影響を考慮して、使用を避けることが望ましい。
- b ケトプロフェンを含む外皮用薬は、まれに重篤な副作用として光線過敏症を生じることがある。
- c サリチル酸メチルは、皮膚から吸収された後、サリチル酸に分解されて、主として局所刺激により患部の血行を促し、また、末梢の知覚神経に軽い麻痺を起こすことにより、鎮痛作用をもたらすと考えられている。
- d ステロイド性抗炎症成分をコルチゾンに換算して 1 g 又は 1 mL 中 0.025 mg を超えて含有する外皮用薬では、長期連用を避ける必要がある。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	誤	正	正	誤
3	誤	正	正	正
4	正	誤	誤	正
5	正	正	正	正

【正解】

解なしとする。（当初予定した正解 5）

【理由】

c は、「サリチル酸メチルは、主として局所刺激により患部の血行を促し、また、末梢の知覚神経に軽い麻痺を起こすことにより、鎮痛作用をもたらす。」とすべきである。